



centor®

お手入れ・メンテナンスガイド

Centor スクリーン網戸/シェードシステム

centor®



お手入れ・メンテナンスガイド

Centor スクリーン網戸/シェードシステム

この度は、Centorのスクリーン網戸/シェードシステムをお選びいただき、誠にありがとうございます。

We believe the world is beautiful...

世界は美しいものです。Centorは、妥協のない「インドア・アウトドア・リビング（室内と屋外が一体となった暮らし）」を実現することで、人々と外の世界をつなぐことを大切にしています。

当社の製品は美しいだけでなく、あらゆる季節や気候、時間帯に対応できるよう設計されています。そのため、今この瞬間も、そしてこれから末永く、素晴らしい生活環境をお楽しみいただけます。

本ガイドでは、スクリーン網戸/シェードシステムを快適に使い続け、Centorの保証を有効に保つために必要な、操作のポイントやお手入れ方法についてご説明します。

操作方法

Centor S2またはS4スクリーン網戸/シェードシステムの操作は非常に簡単です。開口部を覆うようにスクリーン網戸/シェードシステムを引き出すには、アルミ製取手を反対側に向かって引くだけです。反対側に到達すると、マグネットの力で隙間なく閉じることができます。レバーやブレーキを解除するような操作は一切不要で、指先だけで軽々と動かすことができます。

スクリーン網戸/シェードシステムは、開閉途中のどの位置でも止めることができます。手を離れた位置でそのまま保持されるため、出入りする際にスクリーン網戸/シェードシステムを完全に巻き戻す必要はなく、必要な分だけ開ければ通ることができます。開閉中に抵抗を感じた場合は無理に動かさないでください。優しく操作して、大切にお使いください。スムーズに動かない、あるいは全く動かなくなる最も一般的な原因は下部レールに小さな玩具やペットの毛などが挟まっていることです。

不具合の兆候が見られたら、すぐに下部レールの下枠カバーを取り外し、下部レールに異物がないか確認してください。(6ページの「お手入れとクリーニング」をご参照ください)

下部レール部分の障害物を取り除いても問題が解決しない場合は、スクリーン網戸/シェードシステムの使用を控え、購入先に点検・修理をご依頼ください。Centor スクリーン網戸/シェードシステムの駆動システムを、お客様ご自身で修理・調整を行うことは非常に困難です。

強風に注意してください

製品の耐久性を高めるために多大な工夫を凝らしていますが、S4のシェードやブラインドは、強風に耐えられるようには設計されていません。大型のシェードやブラインドは実質的に「大きな帆」のような状態となるため、強風によってしわになったり、破れたり、その他の損傷を受けたりする恐れがあります。そのため、シェードやブラインドは、窓を閉めた状態でご使用いただくことを推奨いたします。

シェードやブラインドを引き出している際に風の影響で問題が生じた場合はまず窓を閉めてから巻き取りを行ってください。そうすることで生地にかかる風圧が取り除かれ、スムーズに巻き取れるようになりますとともに、損傷を防ぐことができます。

スクリーン網戸は、窓を開けた状態で使用するようには設計されています。しかし、これも「大きな帆」と同様の性質を持つため、突風などの強い風の影響を受ける可能性があります。風が強い場合は、スクリーン網戸を収納してください。非常に強い突風が吹いている際には、先に窓を閉める必要がある場合もあります。

雨や湿気に注意してください

Centorのスクリーン網戸およびシェードシステム／ブラインドは、耐水性のある生地で作られています。ただし、特にシェード／ブラインドの生地については、水によって埃や汚れが表面に不均一に広がるシミになる恐れがあります。

雨で濡れるのを防ぐため、シェード／ブラインドは必ず窓を閉めた状態でご使用ください。部分的に濡れてしまった場合はシミになるリスクを抑えるため、すぐに水分を拭き取ってください。

スクリーン網戸やシェードシステム／ブラインドを巻き取る前に、必ず乾燥していることを確認してください。濡れた状態で巻き取ると乾燥が遅れ、カビの発生につながる恐れがあります。濡れてしまった場合は、余分な水分を取り除き、引き出したまま乾燥させてください。

室内側の面が濡れた場合は、ペーパータオルや柔らかい布を使って、できるだけ早く水分を拭き取ってください。

お手入れとクリーニング

お手入れの頻度

適切な清掃を行うことは、設置当初と同様の性能を維持するための最善の方法です。目安として、本書に記載されているお手入れとクリーニングを以下のスケジュールに従って実施してください。

- ・ 一般的な環境： 6ヶ月毎
- ・ 沿岸地域および工業地帯： 3ヶ月毎

沿岸環境とは、塩水域から2キロメートル以内の場所に位置する環境を指します。過度な汚れや堆積物が見られる場合はより頻繁に清掃を行う必要があります。「たまに徹底的に」行うよりも、「こまめに」行う方が適切です。環境はそれぞれ異なるため、その環境に応じた適切な管理が求められます。過度な汚れや堆積物を放置したことによる損傷は、Centorの保証対象外となります。

一般的なお手入れ

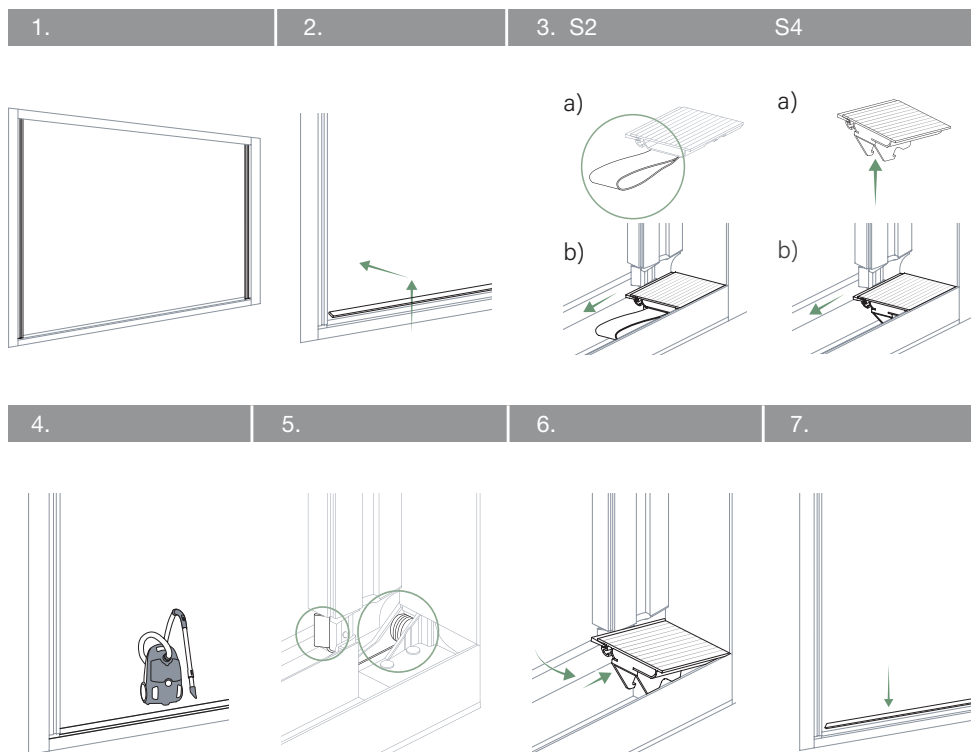
定期的下部レールの下枠カバーを外し、溝に溜まったゴミを掃除機などで吸い取ってください。砂や落ち葉、ペットの毛などが蓄積すると、スクリーン網戸／シェードシステムの動作に支障をきたす恐れがあります。

手軽にお手入れをする場合は、掃除機に柔らかいブラシノズルを装着して網戸部分を吸い取ってください。より念入りに掃除したい場合は、水と中性洗剤を含ませた柔らかい布で優しく拭き取ってください。



お手入れとクリーニング

下部レールのクリーニング



1. スクリーン網戸/シェードシステムを 収納します
2. 下枠カバーを外します
3. 端部の下枠カバーを外します

S2 スクリーン網戸:

- a) 引き手の位置を確認します
- b) 引き手を引っ張り、端部下枠カバーを縦枠から垂直方向に引き離します

S4 スクリーン網戸/シェードシステム:

- a) G端部下枠カバーの下にあるリリースボタンを軽く押します
- b) ボタンを押したまま、端部下枠カバーを縦枠から垂直方向に引き離します

4. 下枠溝に付着した汚れ、髪の毛、ゴミなどを掃除機で取り除いてください
5. 下枠溝に付着した汚れ、髪の毛、ゴミなどを掃除機で取り除いてください
6. 端部下枠カバーを元に戻します(下枠カバーの端を軽く持ち上げ、縦枠側へ押し込んで「カチッ」と音がするまでセットします)
7. 下枠カバーを元に戻します(上から下へ向かってはめ込みます)

ファブリックのお手入れ

シェードやブラインドを美しく保つために

ファブリックを末永く清潔で美しい状態に保つために、以下の点にご留意ください。

1. 使用しないときは収納してください。
2. 汚れやシミが付着した場合はできるだけ早めに除去してください。
3. お手入れの際は、いきなり強力な方法をとるのではなく、まずは負担の少ない簡単な方法からお試しください。

使用頻度が高い場所や汚れやすい環境では、高品質なファブリック保護剤（例：スコッチガード・ファブリックプロテクターなど）の使用をご検討ください。

こうしたコーティング剤は静電気の発生を抑える効果があり、表面にホコリや汚れが付着しにくくなります。

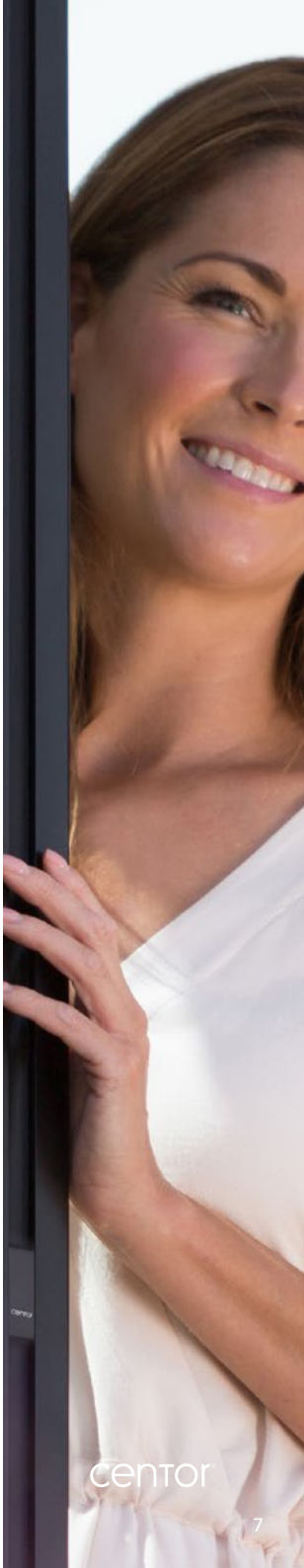
保護剤を塗布する際は、必ずメーカーの指示に従うか、専門業者に依頼してください。

作業前に

1. 汚れを取り除く前に、その性質を確認してください。汚れによっては取り除こうとするとかえって悪化してしまうものもあります。例えば、乾いた汚れは水を使わずに取り除くのが最善です。水で濡らすと、汚れが素材の奥深くまで広がってしまう恐れがあるからです。
2. 必ず汚れが目立ちにくい場所から作業を始め、液体を塗布する場合は、まずファブリックの目立たない部分で試してみてください。液体で洗浄した後、生地を適切に乾燥させないと、水跡が残ってしまうことがあります。
3. 汚れを拭き取る際は、汚染範囲が広がらないよう、必ず外側から内側に向かって作業してください。

汚れの原因を特定します

1. 汚れた部分を注意深く観察してください。
2. 汚れの種類が特定できているいる場合は、該当する処理手順に進んでください。
3. 汚れの種類が不明な場合は、以下の順序で、慎重に洗浄を試してみてください。
 - ・ 乾いた粒子状の汚れ（ほこり、塵など）
 - ・ 油汚れや指紋
 - ・ ワインやジュース



ファブリックのお手入れ

重要な注意事項

以下のすべての工程において、以下の点に注意してください。

- ・ 汚れを生地に染み込ませないようにしてください。シミをこすらないでください。
- ・ まずは目立たない小さな範囲で作業を行ってください。
- ・ 可能な限り、ファブリック(特に遮光タイプの裏面)を濡らすような薬剤の使用は避けてください。
- ・ お手入れには、合成繊維(マイクロファイバーなど)ではなく、綿の布を使用してください。合成繊維の布は生地に静電気を発生させやすく、汚れがより強く付着する原因となります
- ・ 汚れを広げないようにしてください。
 - － 常に外側から内側に向かい作業を行ってください。
 - － ファブリックの表面に触れる掃除機のヘッド、ブラシ、布などは、あらかじめ清潔な状態であることを確認してください。
- ・ 汚れや洗浄液などの液体が付着した場合は、清潔で乾いた綿の布を使い、水分を可能な限り吸い取ってください。
 - － 常に外側から内側に向かい作業を行ってください。
 - － ファブリックの表面に触れる掃除機のヘッド、ブラシ、布などは、あらかじめ清潔な状態であることを確認してください。
- ・ Centorでは、すべてのお手入れに脱イオン水を使用することを推奨しています。水道水には塩分やその他の不純物が含まれており、シミの原因となる可能性があるためです。また、脱イオン水は生地からミネラルや塩分をより効果的に除去します。開封したばかりの密閉容器に入った脱イオン水を使用する方が、以前に開封して一部使用した容器のものよりも効果的です。

乾燥した粒子状の汚れ(ほこり、塵など)

遮光生地の表面や裏面に付着したほこりや汚れは、きれいに取り除くことができます。

このファブリックには工場出荷時に加工が施されており、ほこりや汚れが付着しにくくなっています。

1. 掃除機のノズルを生地に直接当たないようにして、その周辺を掃除してください。これには、ブラシヘッドのアタッチメントを装着した掃除機用ノズル(延長管)を使用する必要があります。
2. 付着した粒子を落とすには、清潔なブラシを使用します。ブラシの先端だけを使って粒子を弾き飛ばすようにし、一方向にのみ動かしてください。手順1と同様に、掃除機を併用して行ってください。

3. 清潔な綿の布を使い、汚れの外側から中心に向かって、一方向のみにこすらないで拭き取ってください。拭くたびに、布のきれいな部分を使ってください。手順1に従って、もう一度掃除機をかけてください。
4. 粘着テープを使い、粘着面を汚れに軽く当てて、付着している粒子を取り除きます。きれいなテープに変えて数回繰り返した後、粘着面を汚れに当てた状態で、テープの裏側を優しくこすってみてください。
5. ごく軽く湿らせた綿の布を使い、汚れの外側から中心に向かって一方向のみに拭き取ります（こすらないでください）。拭くたびに布のきれいな面を使うようにします。広い範囲を拭く場合は、こまめに布を交換するか、きれいにしてください。

油汚れ・指紋の跡

油汚れは繊維の奥に入り込みやすく、除去するのが困難な汚れです。

1. ホワイティネガーと、冷たすぎない温かくきれいな脱イオン水（精製水など）を1対1の割合で混ぜた溶液を用意します。
2. スプレーボトルで溶液を吹き付け、溶液を含ませた清潔な綿の布で汚れの箇所を軽く叩くようにして塗布します。液だれするほど大量に塗布しないでください。もし液だれした場合は、すぐに乾いた綿の布で吸い取ってください。汚れた部分を布でこすらないでください。こすると油汚れが繊維の奥に入り込んでしまう恐れがあります。
3. すぐに別の清潔な布を溶液で湿らせ、汚れた部分を優しく叩くように拭いて、溶け出した油汚れを繊維から浮き上がらせます。注：溶剤はすぐに乾いてしまうため、溶剤が乾かないうちにこの

作業を行えるよう準備を整えておいてください。

1. 清潔な湿らせた布を使い、スポンジで拭き取る作業を繰り返してください。
2. 手順1 4を繰り返します。
3. 溶剤を含ませた布で繰り返し叩いても汚れが落ちない場合は、汚れの外側から中心に向かって、一方向に軽く拭く方法に切り替えてください。

どのような種類の溶剤を使用する場合でも、遮光生地裏面をこすらないようにしてください。酢水溶液で汚れが落ちない場合は、上記のステップ16の手順に従い、酢の代わりに原液の消毒用アルコール（例：変性アルコール、メチルアルコール）または類似の溶剤を試してみてください。



ファブリックのお手入れ

ワインとジュース

汚れがさらに広がるのを防ぐため、乾いた布でできるだけ早く液体を取り除いてください。

1. 乾いた清潔な綿の布を使い、外側から内側に向かって、濡れた跡を軽く叩くように拭き取ります。
2. ボウルに温かい脱イオン水(精製水など)を入れ、食器用洗剤を数滴加えます。
3. 清潔な綿の布をその脱イオン水と洗剤の混合液で軽く湿らせ、汚れ部分を優しく叩くように拭きます。こすらないようにしてください。
4. 手順3を繰り返します。生地への再汚染を防ぐため、その都度、布のきれいな部分を使用するようにしてください。
5. 清潔で乾いた綿の布を使い、ファブリックに残った水分をできるだけ吸い取ります。
6. 可能であれば、拭き取った後、ヘアドライヤーなどを使って、水跡ができるのを最小限に抑えるため、湿った部分の中央から外側に向かって優しく乾かしてください。高温の風で乾かさないでください。
7. シェードを収納する前に、ファブリックを完全に自然乾燥させてください。

汚れが付着してしまった場合、過酸化水素で酸化させることで、その汚れを取り除くか、目立たなくすることができる可能性があります。

1. 水と過酸化水素を希釈した混合液を準備します(脱イオン水と過酸化水素の比率は最大で3:2)。過酸化水素の容器に記載された指示に従い、必ず水に過酸化水素を加えるようにしてください。
2. 霧吹きボトルまたは清潔な綿布を使用し、染みに少量の溶液を慎重に塗布します。
3. 約60秒後、ペーパータオル、または脱イオン水と数滴の食器用洗剤で軽く湿らせた清潔な綿の布で、液体を軽く叩くように拭き取ります。
4. 液体の塗布と拭き取りの工程を繰り返し、その都度、放置時間を徐々に長くしていきます。
5. 混合液が表面で乾かないようにしてください。乾いた清潔な綿布で水分を軽く拭き取ります。
6. ファブリックが完全に乾くまで待ってから、シェードやブラインドを収納してください。

昆虫と血液

ファブリックに付着した昆虫は、ファブリックの表裏両面に跡が残ることがあります。きれいに除去できるかどうかは、昆虫の種類やファブリックに付着していた期間によって異なります。

1. 死んだ昆虫やトカゲは、乾燥した固形物として扱ってください。液体洗剤を使用せずに、可能な限り取り除いてください。
2. 生乾きの血液の染みは、すぐにペーパータオルで軽くたたきようにして拭き取ってください。
3. 残った汚れは、ワインやジュースの染みと同様の方法で処理します。湿らせた布と中性洗剤を使い、優しく叩くようにして拭き取ってください。

カスタマーサポート

サポートが必要な場合

スクリーン網戸/シェードシステムを設置したCentor 販売店が最善のサポートを提供します。販売店は設置状況を熟知しており、迅速に対応可能です。

|販売店に連絡が取れない場合は、スクリーン網戸/シェードシステムの固有シリアル番号をお知らせください。必要なサポートを受けられるよう手配いたします

centor.com/contact又はCentorオーストラリア

日本事務所へご連絡お願いいたします

シリアル番号は、下部レール下枠カバーの裏面に記載されています。





centor®

BRO-CAM-001-JP (B)